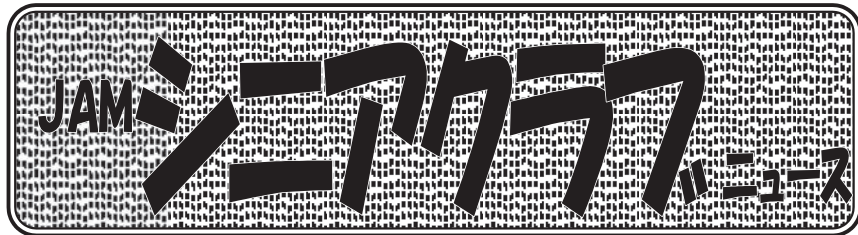


地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



第107号

発行日 2016年7月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

日本退職者連合・第20回定期総会を開き

行動する退職者連合へ方針を確認

7月15日、日本退職者連合は東京お茶の水の「連合会館」で第20回定期総会を開いた。総会では着実に実践し行動する退職者連合を目指すとする運動方針を決定した。具体的には連合と連携を密に一層の前進を目指す社会保障制度改革に向けた取り組みや中期目標の100万人会員実現を目指す組織拡大、東日本大震災、熊本地震からの復興に向けた運動課題などを確認した。

参議院選挙直後と都知事選挙中ということもあり挨拶はこの話題に集中。冒頭退職者連合の阿部保吉会長は「退職者連合は全国各地で営てない取り組みをした」としながらも「自公改憲勢力が3分の2を占めた選挙結果に



は組織内候補への記名票が前回を28万票プラスしたことを評価、その上で今後も「政治に正面から取り組んでいく社会に開かれた組織として様々な組織と連携を深めていく」と挨拶した。来賓の民進党枝野幹事長と社民党福島副党首も選挙総括をふまえた国会運営への意気込みを語った。方針討議では「東北を中心とした勝利した取り組みを今後にかかしていくべき」「行動する高齢者の背中をみせることが必要だ」「女性が参加し議論する環境づくりを」など国政選挙の取り組みや憲法改正を阻止する運動の強

参院選の結果が出た。藤川候補は残念ながら議席に届かず、選挙戦で自分は何が出来たのか、もっとやらなければならぬことがあったのではないかなも忸怩たる思いに駆られている。それにしても今回の選挙、またしても自民党がメディア報道にありこれ注文をつけたようだが、産経新聞・読売新聞をはじめとするマスコミの自公安倍政権への応援記事と、野党に対する腹立つ露骨な批判報道がめだつた選挙戦であった。また、インターネット選挙運動での

指した民進党候補者、3人区で新人の公明・お維新の候補に11万票の差をつけられ落選したが、webサービスク2に同候補を売国議員と誹謗中傷する記事が累々と掲載されていた。

戦に大きな影響及ぼすことだろう。驕るな安倍自民！改憲総選挙12月浮上とサンデー毎日に大見出しがでている。医療、介護、年金と暮らしへの不安が大きくなるなかで、今後どのように政治に向かい合っていくか考えた結果、「一強安倍政権」このような政治で良いのかという自分から外へのはたらきかけを、従来通りの手法ではあるがことばでの語りかけと文字文

参議院選挙後の忸怩たる思い

初心に返り地道な行動で

兵庫シニアクラブ会長 中下 恵司

主張



ネガティブキャンペーンも多々みられた。兵庫選挙区で3期目を目

共同通信社が18歳に選挙情報はどこから得たものが信頼出来たかを問うた回答では、ラジオ、テレビが51%、インターネット38%、新聞30%となっていたが、インターネットが今後も選挙

ことにした。

化、沖縄辺野古基地問題への対応、高齢女性の貧困と雇用政策、年金問題などに発言が続いた。最後に「安倍政権の国民の生活をないがしるにした基本的な政策の誤りと政治姿勢が国民や高齢者、社会的弱者を苦しめ、社会保障制度を先細りさせ民主主義、立憲主義、平和主義を揺るがしている。退職者連合は決定した方針を着実に実践し、行動する退職者連合をキーワードに地道ではあっても粘り強く闘い進もう」とする総会宣言を採択し閉会した。総会にはJAMシニアから退職者連合・幹事の大山会長、本部から大野、豊泉、平木、地方代表の畑山(千葉)、鈴木(富山)代議員が出席した。

お知らせ

シニアクラブ全国代表者会議・結成15周年記念パーティー
日時: 9月6日(火) 13:30
場所: 友愛会館9階大ホール
内容: ①2017年度活動方針・予算
②15周年記念パーティー

参議院選挙へのご支援ご協力に感謝

7月10日に投開票された参議院選挙でJAMが組織内として擁立しシニアクラブが支援してきた藤川しんいち副会長は残念ながら議席を確保することができませんでした。シニアクラブの会員の皆様には全国各地方JAMの現役とともに連日献身的なご支援とご協力をいただいたことに心より感謝申し上げます。

藤川しんいち副会長には全国のJAMの仲間の職場に何度も足を運び政策を語り、支持を訴えてきた経験を今後のJAMの運動に活かして頂きたいと思ひます。これまでの皆様のご協力に感謝いたします。

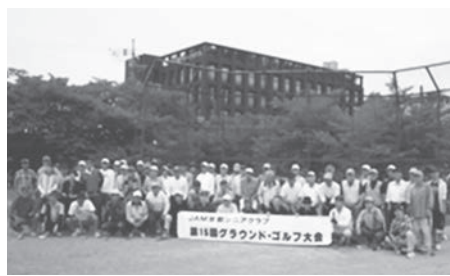
連合組織内候補12名の結果

- 当 小林正夫(電力総連)270,285
- 当 濱口 誠(自動車総連)266,623
- 当 矢田雅子(電機連合)215,823
- 当 川合孝典(UAゼンセン)196,023
- 当 難波奨二(JP労組)191,823
- 当 江崎 孝(自治労) 184,187
- 当 那谷屋正義(日教組)176,683
- 当 石橋通宏(情報労連)171,486
- 田城 郁(JR総連)113,571
- 藤川慎一(JAM) 112,995
- 轟木利治(基幹労連)108,522
- 森屋 隆(私鉄総連)102,208

京都 第15回グラウンドゴルフ大会

深海隆夫さんが初優秀望まれる専用コースの確保

伊藤 忠男通信員



やはりグラウンドゴルフは人が集まる。京都退職者連合主催のグラウンドゴルフ大会(4月26日)には93人の参加者が集まり、J



AM京都シニア傘下の退職者組織が主催する大会も人集めに苦労することなく定員が一杯になる。一泊親睦旅行の参加者を増やすためにグラウンドゴルフを組込む組織もある。恒例のJAM京都シニアクラブグラウンドゴルフ大会も6月25日

(水)毎年協力いただいている村田機械のグラウンドを借用、61名の参加者が午前、午後に分かれて32ホールの熱戦を繰り広げた。

優勝は堂々70台のスコアで元菊水労組の深海隆夫さんが獲得。深海さんはこの大会の常連だが優勝は初めて、「週3回の練習が実を結んでやっと念願がかなった」と喜んでおられた。人気のグラウンドゴルフだが愛好者の不満は京都市内はいうに及ばず、近郊にも公設の専用コースがないこと。高齢者福祉の環境として専用コースの設置が望まれる。

岐阜

グラウンドゴルフ大会を開催 古田勝氏が4連覇を達成する

傍鳴 征夫通信員



第9回JAM岐阜シニアクラブグラウンドゴルフ大会を5月18日、関ヶ原町今須グラウンドゴルフ場で30人が交流を深めた。当日はおかげさまで

天候にも恵まれ、青空の下、緑の芝生を敷き詰めた会場を7チーム編成でプレーした。競技が始まると日頃練習してきた腕前を見せ、ボールがボールに入った瞬間にガッツポーズを見せる方や、思わず

岐阜 青空の下親睦ゴルフコンペを開催 楽しみながら交流の和を広げる

第12回JAM岐阜シニアクラブ親睦ゴルフ大会を6月6日、県内で有名な「グリーンヒル関ゴルフ倶楽部」にて16名の参加で開催した。今回は昨年に比べ、



ぬところへボールが飛び、ペナルティーにしてしまい苦笑いをする方など様々ではありませんが、お互いにリラックスしながら笑顔を見せて楽しんでおられる様子が印象的でした。今回も昨年に続き、

反省会では久しぶりに仲間とお会いして、近況の話をする方や、「散歩を日々しておりますが、散歩よりこのようなスポーツに参加して、いい汗を流すことが出来、健康にも良いので、是非次回も参加したい」との言葉をいただくなど参加者の皆さんは楽しく和やかにプレーし親睦と交流を図ることが出来た。

参加者が少なく一時は、幹事の方も心苦しくされた様子でしたが、プレーが始まると、参加者は「幹事のために大会を盛り上げよう」と、ドライブを握りしめ、桜井さんなどは女性プロ並みのスイングで澄み切った青空に高くボールを飛ばすと、なんと！280ヤード地点まで飛んだ瞬間、ガッツポーズを見せ、参加者からも驚きの拍手と笑顔が湧いた。他のメンバーも負けていけないと真剣な表情で

ドライブを振ってゴルフを楽しんでいた。時には、仲間ゴルフの基本であるドライブの握り方や、腕の振りなど手を取ってアドバイスする様子を見受けることが出来、これもゴルフでしか学ぶことが出来ない友情の和を広めることになったと思う。大会終了後の反省会を兼ねた表彰式では、織田会長代行的に成績発表がされ、優勝(桜井幸雄様)準優勝(片岡正太郎様)3位(渡辺光三様)、いずれもカヤバ工業OBの方が入賞されたことに盛大な祝福の拍手が送られた。